

2 鳥獣被害対策の推進

高度技術支援課

ねらい

これまで、積極的に侵入防止柵の整備を行ってきましたが、その効果については、住民の高齢化、後継者不足等から地域ぐるみの取り組みが困難だったり、地域での合意形成に時間を要する事案も散見され、十分な被害防止対策が行えていない集落も存在します。

そこで、地域ぐるみの被害防止活動、侵入防止柵の設置、有害捕獲対策を推進するとともに、指導的役割を担う人材育成を図ります。

活動地域・対象

地域：県下全域

対象：鳥獣被害対策担当者

普及活動の目標

- 1 鳥獣被害対策指導者の資質向上
- 2 モデル集落の育成

目標に向けた活動概要

1 鳥獣被害対策指導者の資質向上

鳥獣被害対策についての県内外での優良事例の情報収集・発信や被害対策講演会を開催し、鳥獣被害対策の正しい知識・技術の普及に努めました。

- ・鳥獣被害対策専門員と、現地調査、研修会、座談会、現地指導等を実施しました。
- ・研修会、講習会、シンポジウム等を開催し、指導者の資質向上を図りました。

2 被害防止対策の実施

集落での勉強会を開催し、被害を及ぼす鳥獣の特性や、その対策を学ぶとともに、地域住民等による集落点検を実施し、新たな侵入防止柵の設置や、既設侵入防止柵の機能維持及び機能強化等に努めました。



被害対策セミナー及び鳥獣被害防止機器等の展示（捕獲檻）

普及活動の成果

1 鳥獣被害対策指導者の資質向上

鳥獣被害対策について、鳥獣被害対策の正しい知識・技術の普及に努めました。

- ・指導員養成研修 実技研修を中心に6回開催（7月、10月、11月、12月、3月）。
- ・鳥獣被害対策シンポジウム 集落ぐるみの対策について講演（10月24日 約50名参加）。

これらの取り組みにより、関係機関担当者間の連携や担当者の資質向上が図られました。

2 被害防止対策の実施

- ・被害防止を図るための現地調査を実施しました。 実施地区 3地区
- ・今年度は、阿波市、つるぎ町（2地区）において、モデル集落を設置、被害防止対策を実施。地域住民が参加した勉強会や、集落点検を実施することで、地域全体で課題・問題点を共有し、侵入防止対策や、追い払い等に対する意識の醸成が図られました。



集落研修（現地研修）



モデル集落での集落点検（研修会）

用語説明

モデル集落：その地域で、波及効果が見込まれる被害防止の取組を行う先進的な集落。

今後の発展方向

- 1 モデル集落毎に異なる目標が達成できるよう、関係者と連携を強化します。
- 2 付近住民からの被害状況聞き取り調査等による現況確認を強化します。
- 3 被害多発農地を監視し、的確な被害防止対策を講じることで、被害防止効果を高めます。

関係者からの声

市 町 村：防護柵等に対する維持管理作業の重要性を、住民に再認識してもらう必要がある。
地域住民：被害の裏付けに、自動撮影カメラによる動画での説明は、わかりやすい。
集落点検（現地確認）を行うことで、管理作業の必要性が理解できた。

高度技術支援課

連絡先：徳島県名西郡石井町石井字石井1660 tel：088-674-1922